

平成28年2月7日

幹事長談話

東京都議会自由民主党

幹事長 宇田川聡史

本日、北朝鮮は人工衛星と称する長距離弾道ミサイルを発射した。

1月6日の核実験に続き、国際社会の強い非難と抗議にも関わらず、今回もミサイル発射を強行したことは、我が国の平和と安全を損なう安全保障上の重大な行為であり、国連安保理決議等にも違反する許しがたい暴挙である。

よって、都議会自民党は北朝鮮に対して厳重に抗議し強く非難する。

政府においては、国民の安全・安心の確保のため危機管理体制に万全を期するとともに、国際社会の理解と協力の下、引き続き北朝鮮に対し、更なる厳しい制裁を講じるなど、断固とした対応を採るよう強く求めるものである。